

【沿岸（海面上昇）】

- 001) 赤桐毅一、田口益雄、黒木貴一、村井俊治、柴崎亮介、垣内博昭、1992：海面上昇による沿岸への影響予測に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.320-323.
(Estimate for the Influence of Sea Level Rise in the Coastal Areas)
- 002) 浅井富雄、1990：地球温暖化と海洋、Sci. & Tech.、Vol.3、No.4、pp.3-5.
- 003) 磯部雅彦、三村信男、灘岡和夫、1990：地球温暖化による海面上昇・海象変化と沿岸への影響評価、環境工学連合講演会講演論文集、Vol.6、pp.1-6.
(Sea level rise and sea climate changes due to global warming and evaluation of their impacts on coastal areas.)
- 004) 磯部雅彦、三村信男、灘岡和夫、1991：地球温暖化による海面上昇・海象変化と沿岸への影響、環境工学連合講演会講演集.
- 005) 磯部雅彦、1991：地球温暖化が沿岸域に及ぼす影響の予測、土木学会地球規模環境問題に関するミニワークショップ講演集、pp.49-55.
- 006) 磯部雅彦、1992：地球温暖化による海面上昇と沿岸域におけるその影響予測、沿岸海洋研究ノート、Vol.29、No.2、pp.169-178.
(Sea Level Rise due to Global Warming and Assessment of their Impacts on Coastal Zones)
- 007) 伊藤隆夫、根本貴史、1992：地球温暖化に伴う海面水位の上昇による沿岸部への影響と対策について、'92 日本沿岸域会議研究討論会講演概要集、No.5.
- 008) Inouchi K. and T. Takinuma, 1991：The effects of the rise in sea level on coastal aquifers, IWRA World Congress 7.
- 009) Inouchi K. and T. Takinuma, 1991：Impact of Sea Level Rise on Groundwater Environment, 愛媛大学工学部紀要.
- 010) 宇多高明、小俣篤、斉藤友伸、1988：阿字ヶ浦海岸における海浜地形の長期的変動とその原因、土木学会論文集、No.399、pp.165-174.
(Long-term beach changes and their causes at Ajigaura beach, Ibaraki prefecture, Japan.)
- 011) 宇多高明、小俣篤、1991：海岸保全に及ぼす海面上昇の影響、土木技術資料、Vol.33、No.8、pp.62-65.
- 012) 宇多高明、伊藤弘之、1991：地球温暖化調査報告書－潮位、波浪、海浜地形の長期変動に着目して－、土木研究所資料、No.3034、99pp.
- 013) 宇多高明、小菅晋、1992：海面上昇がサンゴ洲島の変形に及ぼすインパクト、海岸工学論文集、Vol.39.
- 014) 宇多高明、伊藤弘之、大谷靖郎、1992：日本沿岸における1995年以降の海水準変動、海岸工学論文集、Vol.39、pp.1021-1025.
- 015) 宇多高明、伊藤弘之、1992：沿岸域の社会基盤システムへの影響評価に関する研究 ②島しょ国での海面上昇による消波機能と侵食への影響に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.343-347.
- 016) Japan Ministry of Transportation, 1989：Impact on the Harbor Area.

- 017) 運輸省 調査委、1992：温暖化による海面水位の上昇が臨海部に及ぼす影響、産業と環境、Vol.21、No.5、pp.28-31.
- 018) 大嶋和雄、池田国昭、羽坂俊一、横田節哉、松本英二、赤松守雄、1991：古環境解析による地球温暖化に伴う沿岸環境の影響評価に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.372-379.
(Evaluation of the Holocene sea level and climatic change in relation to modification of the coastal environment)
- 019) 大嶋和雄、池田国昭、羽坂俊一、松本英二、赤松守雄、1992：古環境解析による地球温暖化に伴う沿岸環境の影響評価に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.330-338.
(Evaluation of the Holocene sea level and climatic change in relation to modification of the coastal environment)
- 020) 建設省国土地理院、1991：地球の温暖化による海面上昇等の影響予測に関する研究作業（熊本平野）.
- 021) 近藤淑郎、1990：海面上昇に伴う感潮狭口の流積変化予測、海岸工学論文集、Vol.37.
- 022) 酒井哲郎、山本晃之、1985：温室効果による平均海面上昇の予測値とその評価、土木学会年次学術講演会講演概要集 第2部、Vol.40、pp.737-738.
(Forecast value of rise of mean sea level by greenhouse effect and its evaluation.)
- 023) 水産庁、1991：海岸保全施設の安全性の調査（地球温暖化への対応に関する調査）、平成2年度報告書.
- 024) 水産庁、1992：海岸保全施設の安全性の調査（地球温暖化への対応に関する調査）平成3年度報告書.
- 025) 菅和利、玉井信行、浅枝隆、木村茂幸、1992：海面上昇が河道内塩水遡上に与える影響、土木学会年次学術講演会講演概要集、第II部.
- 026) 関和美、三村信男、1991：地球温暖化による海面上昇の沿岸域への影響評価、茨城大学工学部研究集報、Vol.39、pp.241-248.
(Assessment for the Impacts of Global Warming - Induced Sea Level Rise on Coastal Zone.)
- 027) 高山知司、1990：防波堤の滑動安定性に及ぼす海面上昇の影響、海岸工学論文集、Vol.37、pp.873-877.
- 028) 竹下正俊、1991：地球温暖化に伴う海面水位の上昇が臨海部に及ぼす影響に関する研究、'91 日本沿岸域会議研究討論会講演概要集、No.4.
- 029) 竹下正俊、高津宣治、大神孝明、泉浩二、宮崎祥一、1991：海面水位の上昇による臨海部への影響に関する研究、海岸工学論文集、Vol.38.
- 030) 谷岡誠一、高沢信司、後藤隆、大井信三、飯田誠、村井俊治、スキットウイェン、垣内博昭、1991：海面上昇による沿岸への影響予測に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.360-364.
(Estimate for the Influence of Sea Level Rise in the Coastal Areas)
- 031) 筒井純一、磯部雅彦、1992：地球温暖化後の東京湾における高潮の予測、日本沿岸域会議論文集、No.4、pp.9-19.

- 032) 中辻啓二、1990：海面上昇にかかわる沿岸水理の問題、土木学会地球規模環境問題に関するミニワークショップ講演集、pp.45-46.
- 033) 中辻啓二、1991：海面上昇が河口・沿岸海域の流動に及ぼす影響とその対応、土木学会平成3年度全国大会、研究討論会『海面上昇への適切な対応』資料.
- 034) 細川恭史、1990：地球温暖化に関わる災害とその対策－行政の立場から－、第27回災害研究会.
- 035) 細川恭史、1991：海面上昇の沿岸影響と対応策の検討課題、土木学会地球環境問題に関するミニワークショップ、pp.56-69.
- 036) 細川恭史、1991：海面上昇が沿岸域に及ぼす影響とその対応、土木学会平成3年度全国大会.
- 037) 細川恭史、磯部雅彦、三村信男、1991：Report of Vulnerability Assessment for Japan、IPCC WG3 ベネズエラワークショップ（沿岸域管理サブグループ）IPCC Coastal Zone Management Subgroup Workshop, Margarita Island, Venezuela.
- 038) 細川恭史、南兼一郎、竹下正俊、1991：Nationwide cost for bank-raise against sea level rise -Case Study for Japanese Port and Harbor Area-、環境と社会に対する気候影響に関する国際会議（CIES）.
- 039) 細川恭史、関根好幸、1992：地球温暖化による港湾域の排水機場機能への影響、港湾技術研究所報告、Vol.31、No.1、pp.51-115.
(Effect of Global Warming on Drainage Function of Pump Stations in Ports)
- 040) 堀江毅、村上和男、菅沼史典、細川恭史、関根好幸、三村信男、1991：沿岸域の社会基盤システムへの影響評価に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.380-386.
(Research on Impact Evaluation to Social Infra-Systems along Coast)
- 041) 堀江毅、村上和男、細川恭史、関根好幸、古川恵太、三村信男、堀信行、1992：沿岸域の社会基盤システムへの影響評価に関する研究 ①沿岸影響評価手法開発と日本・東南アジア・島しょ国の脆弱性評価に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.339-342.
- 042) 松井貞二郎、立石英樹、磯部雅彦、渡辺晃、三村信男、柴崎亮介、1992：海面上昇に伴う日本の沿岸域の浸水影響予測、海岸工学論文集、Vol.39、pp.1031-1035.
- 043) 三村信男、磯部雅彦、灘岡和夫、1990：海面上昇・気候変動による沿岸域への影響とその対応策、海岸工学論文集、Vol.37、pp.863-867.
- 044) 三村信男、1990：温暖化による海面上昇の影響評価と課題、土木学会年次学術講演会講演概要集 第2部、Vol.45、pp.714-715.
- 045) 三村信男、細川恭史、磯部雅彦、1991：海面上昇・地球温暖化の沿岸域への影響の諸相と影響評価の枠組み、環境システム研究、Vol.19、pp.22-27.
(Impacts of sea level rise and global warming on the coastal zone and a framework of their assessment.)
- 046) 三村信男、磯部雅彦、細川恭史、灘岡和夫、1991：地球温暖化による海面上昇・海象変化の影響評価、土木学会海岸工学論文集、Vol.38、pp.936-940.

- 047) 三村信男、柳哲男、1991：IPCC第2作業部会（影響評価作業部会）報告書の要点－重要事項並びに日本及びアジアにおける検討課題－ 6. 世界の海洋と沿岸域、平成3年度環境庁委託研究報告書、計量計画研究所、pp.115-135.
- 048) 三村信男、1991：IPCC第3作業部会（対応戦略作業部会）報告書の要点 3.沿岸域管理サブグループ、平成3年度環境庁委託研究報告書、エックス都市研究所.
- 049) Mimura, N., M. Isobe and K. Nadaoka, 1991: Impacts of sea level rise and a framework of their assessment, Proc. Int. Conf. on Climate Impacts on the Environment and Society (CIES).
- 050) Mimura, N. et al., 1991: An overview of potential impacts of sea level rise, International Conference on CIES.
- 051) 三村信男、1992：地球温暖化に伴う海面上昇の影響と対策、シンポジウム地球温暖化をめぐる最新の科学的知見－地球サミットへ向けてのIPCC（気候変動に関する政府間パネル）報告－（財団法人 地球・人間環境フォーラム）、pp.47-69.
- 052) 三村信男他、1992：日本沿岸域における海面上昇の影響と対応策、IPCC/CZMS/カントリーレポート.
- 053) 宮崎祥一、遠山憲二、1991：地球温暖化に伴う海面水位の上昇が臨海部に及ぼす影響に関する研究、環境システム研究、Vol.19、pp.22-27.
(Effects of sea level rise on the Japanese coastal areas.)
- 054) 村岡浩爾、中辻啓二、瀬津家久、1990：温暖化に関連する水理学・水文学の課題、土木学会地球規模環境問題に関するミニワークショップ資料.
- 055) 村上和男、山田邦明、1992：わが国沿岸の海面推移の長周期変動の特性とその要因、海岸工学論文集、Vol.39、pp.1027-1031.
- 056) 村上和男、山田邦明、1992：我国沿岸の潮位と平均海面の変動の解析、港湾技術研究所報告、Vol.31、No.3.
- 057) 村上和男他、1992：我国沿岸の平均海面の変動特性、日本海洋学会春期大会.
- 058) 安原一哉、三村信男、1992：気候変動が土構造物・基礎地盤に及ぼす影響－その1：問題点の枠組みと具体的な課題－、土木学会関東支部研究発表会講演概要集、第III部門.
- 059) 安原一哉、三村信男、1992：気候変動が土構造物・基礎地盤に及ぼす影響－その2：具体的課題とその評価方法（地下水上昇の影響I）－、第26回土質工学研究発表会講演概要集.
- 060) 安原一哉、三村信男、1992：気候変動が土構造物・基礎地盤に及ぼす影響－その3：地下水上昇が液状化へ及ぼす影響、第46回土木学会年次学術講演概要集、第III部門.
- 061) 安原一哉、三村信男、1992：海岸工学に関わる地球環境問題に関する調査・研究 4.3 廃棄物処理施設、土木学会海岸工学委員会・地球環境問題小委員会 平成4年度成果報告書.
- 062) 山崎幸雄、上野英克、近藤純正、1989：東北地方太平洋沿岸域の大気と海洋の相互作用の長期変動、天気、Vol.36、No.11、pp.689-695.
(Long-term variation of the air-sea interaction in the Pacific coastal

region of the northeastern part of Japan.)

- 063) 山下智、中野晋、三井宏、秋山佳輝、1990：平均海面上昇時の徳島市の高潮災害についての計算、第42回土木学会中国四国支部研究発表会講演概要集、pp.208-209.
- 064) 山本吉道、堀川清司、長沼良子、1992：地球温暖化が海岸堤防越波に及ぼす影響について、海岸工学論文集、Vol.39、pp.1036-1040.
- 065) 山本吉道、堀川清司、長沼良子、堀之内毅、1992：地球温暖化がウォーターフロントに及ぼす影響について、海洋開発論文集、Vol.8、pp.361-365.
(Influence of Global Greenhouse Effect on Seawall Wave Overtopping at Waterfront.)
- 066) 渡辺佳則、諸原昭、沼田淳、高橋敏彦、1990：わが国太平洋沿岸各地の年平均潮位の推移について、土木学会東北支部技術研究発表会講演概要、Vol.1989、pp.196-197.